

日本海洋科学振興財団

海外渡航費用援助 報告書

2022 年 3 月 25 日

氏名 今村 春香

所属機関(院生は大学院と研究科名) 京都大学大学院理学研究科

職名(学生は学年) 修士2回

渡航期間 2022 年 2 月 25 日ー 2022 年 3 月 5 日 (オンライン参加)

渡航先*

オンラインで学会に参加したため、渡航はしていません。

渡航目的とその成果、感想

今回、海外渡航費用援助により参加費用を援助していただき、オンライン開催された Ocean Sciences Meeting 2022 に参加し、口頭での研究発表を行いました。これまでも、同様の研究成果を国内の学会や研究集会等で発表してきましたが、今回の国際学会での発表時には、これまでの国内の発表時よりも多くの質問を受け、私の研究対象に関心を持つ研究者が海外に多くいることを実感し、研究への意欲がより一層増しました。また、今回の発表は、私にとっての初めての国際学会かつ英語での発表でした。発表準備や質疑応答などを通して、英語でのコミュニケーションの練習の必要性を痛感することができたとても良い機会になり、英語の勉強により一層取り組むようになりました。参加した学会はオンライン開催ではありましたが、投稿料や参加費用が国内学会に比べると高額でした。この海外渡航費用援助の制度があることにより、参加への金銭的なハードルが下がりました。ありがとうございました。来年度は博士課程に進学するので、これからも恐れずに海外での英語発表やコミュニケーションに挑戦したいと考えています。